

2022年度 RCE兵庫-神戸の取り組み

RCE 兵庫・神戸

- 教育機関、地方公共団体、市民団体、企業等のESDに関連する実践者が集い、兵庫県等において、ESDを推進することを目的に2007年に設立。現在、会員数は112名
- 実践活動エリア（神戸市東灘・灘・中央・兵庫・長田区／明石市・加古川市・播磨地区／神戸市須磨・垂水・西区／尼崎市・西宮市・芦屋市／神戸市北区・三田市・宝塚市・その他の地域）
- 事務局は三役会と神戸大学HCセンター
 - 三役会
 - 代表　：野崎隆一（神戸まちづくり研究所）
 - 副代表：西谷寛（海と空の約束プロジェクト）
武田義明（元神戸大学）
 - 監事　：長谷川俊、齋藤優子（コープこうべ）
 - 事務局長：清野未恵子（神戸大学）
 - 副事務局長：高田知紀（兵庫県立大学）
- 運営協力組織：ESDプラットフォームWILL



2022年度の主な事業（活動報告）

- 日本福祉教育・ボランティア学習学会
第28回こうべ大会の開催支援
 - ▶ 課題別研究こうべ企画の立案から運営まで
ボランティアの今と未来～阪神・淡路大震災から1万日！
つながりづくり・まちづくりと学び～ごちゃまぜ連携の可能性
グローバルな実践づくりの方法と課題～オンラインの光と影
- ESDスタディツアープログラムを通じた学校教育と
ESD実践の連動
 - ▶ 約100人がプログラムを利用
- ESDプラットフォームWILL（ユース主体）支援
およびコラボ活動の実施



2023年度の主な事業（計画）

- **メンバー間の交流と相互の刺激を通じた学びの場づくり**
 - ▶ 第7回ESD実践研究集会の開催
 - ▶ ESD車座トークの再開
- **学校教育とESD実践の連動**
 - ▶ ESDスタディツアープログラムの活性化
- **ユースの活動との連動を通じた相互学習**
 - ▶ ESDプラットフォームWILLと連携したプロジェクトの運営

主な成果と課題

成果

- ・学会との連動を通しての他地域・他分野の方々とのネットワーキング促進およびESDやSDGsを視野に入れていなかった人々との関係づくり

- ・HP等の情報検索を通しての新たな会員の加入

(従来の「口コミ」や「縁」を通じた繋がり以外の新たな参加パターンの広がり)

課題

- ・SDGs運動やESD実践の活性化に則した活動創出機能の強化

→学会開催支援に関与しなかったメンバーとの交流機会創出

運営のしくみの刷新 (関係性の固定化によるクリエイティビティの低下)

成功事例

背景・目的

日本福祉教育ボランティア学習学会第11回こうべ大会（2005年）は、ESD推進ネットひょうご神戸が設立された契機となった。17年の時を経て、当時の経験を持つメンバーと新たなメンバーを交えて、RCE Hyogo-Kobeのメンバー間のつながり創出と、新たな課題を自ら創出することを目的に学会大会の開催を支援した。

概要

学会大会の全体的な運営支援だけでなく、「課題別研究（こうべ企画）」を企画・運営した。また、実践活動報告を通して、メンバーのESD実践を報告する機会を設けた大会テーマの「響きあうふくしと学びとSDGs ～今、改めて、つながりを問う～」もメンバー一丸となって考案した。

成果

福祉を背景とした教育やボランティア学習を考究する学会員との交流を通して、メンバーが進めるESDと、ふくしの関係について改めて考えを深める機会になった。また、ESD推進ネットのメンバーの活動や団体そのものを、当学会大会に参加した方々に情報提供できた。